

マトリクス1

○心身ともに健康で、たくましく生きる児童生徒

高等部	1 自己の能力や適性を理解し、自分の得意なことを伸ばすとともに難しいことへの対応をすることができる。	2 自分でできる方法を模索したり、周囲の人に相談したりして取り組むことができる。	3 身近な問題に目を向け、探求心や目的をもって学習に取り組むことができる。	4 自分の障害や病気を理解し、障害や病気の進行を予防する方法を理解し、実践することができる。	5 自分の健康状態や障害の状態、体力に応じて運動量を調節し、体力の維持や向上に適切に取り組むことができる。	6 望ましい生活をめざし、健康管理に努めたり、生活を改善したりすることができる。
中学部	7 自分の得意なことや不得意なことを理解して、行動に生かすことができる。	8 失敗経験から学んだことや周囲の人に教えてもらったことを生かして取り組むことができる。	9 自らの課題に気付き、見通しや予想を持って進んで学習に取り組むことができる。	10 自分の障害や病気を理解し、健康・安全に留意した生活や不調時の対応を考えることができる。	11 自分の健康状態や体力に合わせて、適度な運動に取り組むことができる。	12 基本的な生活習慣を身に付け実践することができる。
小学部	13 自分の好きなことや得意なこと、苦手なことに気付くことができる。	14 苦手なことや難しいことにも繰り返し取り組むことができる。	15 知りたいことや分からないことを進んで学ぼうとすることができる。	16 自分の身体に気付き、健康で丈夫な身体をつくるために必要なことを知ることができる。	17 身体を動かすことを楽しんだり、運動に親しんだりすることができる。	18 早寝早起き、偏りのない食事、手洗いやうがい、歯磨き、入浴など、基本的な生活習慣を身に付けることができる。
身に付けさせたい力	自分を知る ＜自己理解・自己管理＞	継続して前向きに取り組む ＜課題対応＞	学習への意欲をもつ ＜課題対応＞	健康や障害について理解する ＜自己理解・自己管理＞	体力の維持や向上を図る ＜自己理解・自己管理＞	望ましい生活習慣を身に付ける ＜自己理解・自己管理＞
大項目	たくましく生きる心			たくましく生きる身体		

○思いやりの心を持ち、心豊かに生活する児童生徒

高等部	19 芸術や文化についての関心を高め、芸術的、文化的活動に進んで取り組んだり、生活に生かしたりすることができる。	20 自然や社会の現象について幅広く情報収集を行い、広い視野に立って物事を考えたり、知識や経験を生活に生かしたりすることができる。	21 社会において、自分のできることや働くことの意義を見いだして取り組んだり、任された仕事は責任を持ってやり遂げたりすることができる。	22 自他の違いを認め、自分を取り巻く人々と互いに支え合って分かり合える仲間づくりをし、集団の一員として活動することができる。	
中学部	23 表現や鑑賞に親しみ、芸術や文化の良さ、美しさを感じ取ったり味わったりすることができる。	24 自然や社会の現象について進んで学習し、知識や経験を増やしたり、自分のものの見方や考え方を広げたりすることができる。	25 学校生活や家庭生活において、自分の役割を果たしたり、互いに協力しながら物事に取り組んだりすることができる。	26 他人の考えを尊重したり、周囲の人を気遣ったりして、自分の悩みをお互いに話し合える仲間をもつことができる。	
小学部	27 表現や鑑賞を楽しみ、自分の思いや感じたことを表現したり、つくりだす喜びを味わったりすることができる。	28 自然や社会の出来事や様子について興味や関心をもち、自分の知りたいことを調べたり、体験したりすることができる。	29 係の仕事や手伝いに取り組み、自分で決めたことは最後までやり通すことができる。	30 相手の気持ちを考えて友達を大切にしたり、進んで集団の中に入って人と関わったりすることができる。	
身に付けさせたい力	芸術や文化に関心をもつ ＜自己理解・自己管理＞	自然や社会に関心をもつ ＜課題対応＞	奉仕の心や責任感をもつ ＜キャリアプランニング＞	自他の違いを知り、よりよい人間関係をつくる ＜人間関係形成・社会形成＞	
大項目	心豊かな生活			思いやりのある関わり	

○夢や願いに向けて挑戦し、社会に貢献する児童生徒

高等部	31 周囲の人に自分から働き掛けて必要な話や依頼をしたり、問題について話し合っ解決したりすることができる。	32 目的や意図に応じ、伝えたい事柄や意見などが相手に分かりやすく伝わるように、具体例などを加えながら説明することができる。	33 福祉制度や障害者支援サービスの利用方法などを理解し、実生活で活用することができる。	34 報告、連絡、相談を行い、場や状況に応じた振る舞いができる。	35 就労や進学に関する理解や認識を深め、自己の職業観・勤労観をもち、将来設計や進路希望の実現に向けて取り組むことができる。	
中学部	36 話題や話の流れに応じて話すことや、人の考えを受容したり自分の考えを修正したりしながら話すことができる。	37 目的や意図に応じ、自分の考えをまとめ、根拠を明確にして書いたり話したりすることができる。	38 学校生活のきまりや地域社会のルールを理解し、自分で行おうとすることができる。	39 相手や場に応じた態度や言葉遣いができる。	40 体験や学習を通して、様々な職業があることを知り、自分の将来や進路について描き、自分の努力目標を考えることができる。	
小学部	41 相手の気持ちや話の内容をとらえながら聞いたり、考えや伝えたいことをまとめて自分の言葉で話したりすることができる。	42 相手や目的に応じ、調べたことや自分の考えが伝わるように、書いたり話したりすることができる。	43 身近なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動することができる。	44 返事や挨拶、丁寧な言葉遣いができる。	45 自分が将来就きたい職業や夢について考えることができる。	
身に付けさせたい力	人と関わる ＜人間関係形成・社会形成＞	言葉で表現する ＜人間関係形成・社会形成＞	生活を営む ＜キャリアプランニング＞	態度・言葉遣い ＜人間関係形成・社会形成＞	進路を選択する ＜キャリアプランニング＞	
大項目	自己表現力			夢や願いに向かうための力		